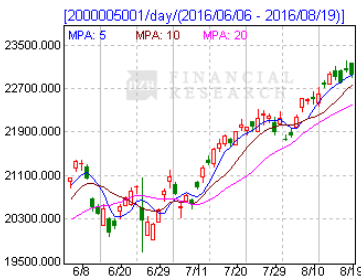


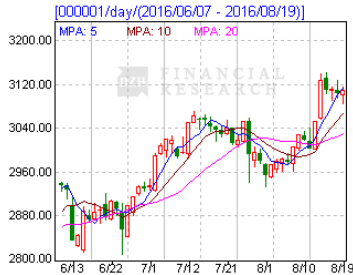


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,552.57	-45.13	-0.24	-0.13	6.47	17,425.03
NASDAQ	5,238.38	-1.77	-0.03	0.10	4.61	5,007.41
日経225	16,545.82	59.81	0.36	-2.21	-13.07	19,033.71
上海総合	3,108.10	3.99	0.13	1.88	-12.18	3,539.18
滬深300(CSI300)	3,365.02	0.54	0.02	2.15	-9.81	3,731.01
ハンセン	22,937.22	-85.94	-0.37	0.75	4.67	21,914.40
H株	9,606.17	-48.52	-0.50	0.54	-0.57	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.7%高と3週続伸、上海総合指数は1.9%高

香港市場ではハンセン指数は1週間で0.7%高と3週続伸。週初に9カ月半ぶり高値を付けて始まると、週を通じて心理的節目の23000ポイントを意識した展開。週後半に米早期利上げ観測後退を受け、23000ポイント台に乗せる場面も見られた。週末には利益確定売りに押され、結局23000ポイント割れで取引を終えた。本土市場では上海総合指数が1週間で1.9%高と続伸した。「深港通」期待で約7カ月ぶりに3100ポイントを突破。その後は上値の重さが意識されたが、終値では週を通じて3100ポイント台を維持した。

今週の展望:香港市場は個別物色中心の展開か、イエレン議長の講演にも注目

香港市場は決算発表が本格化する中、個別物色中心の展開が見込まれる。とりわけ決算発表が集中する本土系金融銘柄への注目度が高く、ポジティブサプライズがあれば相場全体の押し上げ要因となる可能性がある。ただ、週末26日にイエレンFRB議長の講演を控えていることもあり、週末にかけては手控えムードが広がる公算が大きい。一方、本土市場は底堅い展開か。「深港通」の発表で材料出尽くし感はまだ強まっているが、引き続き過剰生産問題や国有企業改革の進展期待が相場を下支えする展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

順位	銘柄	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	チャイナ・ユコム(00762)	9.36	11.96
2	テンセント(00700)	201.80	7.45
3	中国平安保険(02318)	41.05	5.12
4	新世界発展(00017)	9.76	4.39
5	華潤電力控股(00836)	13.82	4.22
6	華潤置地(01109)	21.95	3.29
7	Link REIT(00823)	56.50	2.91
8	恒隆地産(00101)	17.68	2.91
9	リー&ソ(00494)	3.97	2.58
10	中国工商银行(01398)	4.91	2.51

▼値下がり

順位	銘柄	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	キャセイ・パシフィック(00293)	11.12	-12.44
2	中国神華能源(01088)	13.76	-8.99
3	太古A(00019)	85.80	-7.84
4	サンズ・チャイナ(01928)	30.50	-6.73
5	銀河娛樂(00027)	26.65	-5.16
6	康師傅控股(00322)	7.21	-4.25
7	東亜銀行(00023)	32.45	-3.99
8	百麗國際(01880)	5.31	-3.98
9	中国旺旺(00151)	4.82	-3.79
10	香港証券取引所(00388)	191.20	-2.99

▼今週の主なイベント

- 8月25日(木)
- 【香港】貿易統計(7月)
- 8月26日(金)
- 【米国】GDP改定値(4-6月)、イエレンFRB議長講演

▼今週の期待材料

- ◆ 国務院が鉄鋼、石炭の過剰生産問題で調査チームを各地に派遣、国有企業改革の進展期待が高まる公算
- ◆ 本土系企業を中心に6月中間決算の発表が本格化、好業績銘柄に物色の予先が向かう可能性も
- ◆ 「深港通」の総投資枠の制限を撤廃、A株のMSCI指数採用への期待高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆ 当局が「深港通」の導入を正式発表、好材料出尽くし感で利益確定売りが強まる可能性も
- ◆ 中国の輸出に引き続き下押し圧力、国務院発展研究センターはマイナス幅が拡大するとの見通しを発表
- ◆ 26日にイエレンFRB議長がジャクソンホールで講演、利上げめぐる思惑で手控え姿勢強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華潤ビール(00291) : 6月中間決算は黒字転換、再編に伴う前年の特殊要因の反動
- ☆ 深セン高速道路(00548) : 6月中間決算は14%増益、市場予想上回る
- ☆ 恒安国際集団(01044) : 25日に6月中間決算を発表、市場予想は8%増益
- ☆ 国薬控股(01099) : 6月中間決算は32%増益、市場予想上回る
- ☆ ウィン・マカオ(01128) : 22日にコタイ地区で新カジノリゾートを開業
- ◇ テンセント(00700) : JDドット・コム株式買い増し、筆頭株主に浮上
- ★ 瑞年国際(02010) : 6月中間決算は60-70%の大幅減益見通し、製品の販売不振響く
- ★ ペトロチャイナ(00857) : 23日に6月中間決算を発表、市場予想は15億元弱の赤字
- ★ 中国神華能源(01088) : 26日に6月中間決算を発表、市場予想は16%の減益
- ★ 中国人寿保険(02628) : 25日に6月中間決算を発表、市場予想は55%の大幅減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。